

# 「人間の安全保障」プログラム



東京大学大学院総合文化研究科

The Graduate Program on Human Security,  
The University of Tokyo, Komaba

## お問い合わせ

「人間の安全保障」プログラム事務局にお寄せください。

mail / [hsp-toiawase@hsp.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:hsp-toiawase@hsp.c.u-tokyo.ac.jp) tel / 03-5454-4930

本プログラムに関する詳細な情報は随時ホームページに公表します。

<http://hsp.c.u-tokyo.ac.jp/>

# Human Security

「人間の安全保障」は、21世紀の人類社会の望ましい発展を構想するために提案された国際社会の新しいコンセプトです。それは、国際関係論などの社会科学のみならず自然科学や地域研究、人文科学など多様な観点からの研究・教育が必要な分野です。そこで、東京大学大学院総合文化研究科は、2004年4月に文理横断の全5専攻の協力のもとに新しいタイプの大学院教育プログラムを立ち上げました。それが「人間の安全保障」プログラム（HSP）です。

## ▶ 「人間の安全保障」を追求する「人財」の育成



「人間の安全保障」プログラムの目的は、ひとりひとりの人間が安心して生活できる平和な社会を追求する「人財」を育てることです。「人間の安全保障」を取り巻く問題を深く理解し研究すると同時に、この問題に自ら実践的に関わっていく「人財」。このプログラムは、国際社会に対する新たな貢献を行う、こうした「人財」を養成していくのに、まさに相応しい内容となっています。「人間の安全保障」の分野でこれから活躍したい優秀な方々、既に実績をお持ちの方々の積極的な参加を期待しています。

## ▶ 豊かで開かれた教育プログラム

### 入学試験

「人間の安全保障」プログラムは独自の入学試験を行います。毎年、修士課程16名・博士後期課程4名程度を受け入れています。社会人枠（若干名）もあります。「人間の安全保障」の現場での経験が豊富な方の入学を歓迎します。

### 授業科目

「人間の安全保障」プログラムは、「開発」「平和」「人権」という三つの柱から「人間の安全保障」をとらえています。学生は、これらの柱（科目群）に基づくさまざまな講義・演習・実習を受講します。

### 横断的組織

「人間の安全保障」プログラムは、大学院総合文化研究科の5専攻を横断する斬新な形態で運営され、現代世界の新しい課題に積極的に取り組んでいます。プログラムの学生は、以下の5つの専攻のいずれかに所属しつつ、そこを足場として「人間の安全保障」という新しい課題に取り組めます。

言語情報科学専攻	言語科学基礎理論、言語情報解析、国際コミュニケーション、言語態分析、言語習得論、日韓言語エコロジー研究
超域文化科学専攻	文化ダイナミクス、表象文化論、文化人類学、文化コンプレキシティ、比較文学比較文化、比較民族誌
地域文化研究専攻	多元世界解析、ヨーロッパ・ロシア地域文化、地中海・イスラム地域文化、北米・中南米地域文化、アジア・環太平洋地域文化、環インド洋地域文化、アメリカ太平洋地域文化
国際社会科学専攻	国際協力論、国際関係論、公共政策論、相関社会科学、比較現代政治
広域科学専攻	生命環境科学系（環境応答論、生命情報学、生命機能論、運動適応科学、認知行動科学）、相関基礎科学系（科学技術基礎論、自然構造解析学、複雑系解析学、機能解析学、物質計測学、物質設計学）広域システム科学系（基礎システム学、情報システム学、自然体系学、複合系計画学）

### 授業科目(プログラム特設科目)

基礎科目	人間の安全保障基礎論Ⅰ・Ⅱ	
展開科目	開発	開発と貧困Ⅰ・Ⅱ
		社会の自立と共同Ⅰ・Ⅱ
		生存とライフスキルⅠ・Ⅱ
		サステナビリティの戦略Ⅰ・Ⅱ
	平和	紛争と和解・共生Ⅰ・Ⅱ
	平和プロセスと国際協力Ⅰ・Ⅱ	
	難民と移民Ⅰ・Ⅱ	
	統治と規範Ⅰ・Ⅱ	
人権		生命と尊厳Ⅰ・Ⅱ
		文化エコロジーⅠ・Ⅱ
		多様性と普遍性Ⅰ・Ⅱ
	国家・市民社会・企業Ⅰ・Ⅱ	
演習科目	人間の安全保障演習	
実践科目	人間の安全保障実験実習	

### 修了と学位

プログラムの修了者には「修士（国際貢献）」「博士（国際貢献）」という学位を授与します。修了にあたっては、学位論文を執筆します。修士課程では、実務的経験を生かした調査報告「特定の課題についての研究の成果」の執筆で学位を得ることもできます。

## ▶ 強力な研究教育基盤と社会連携

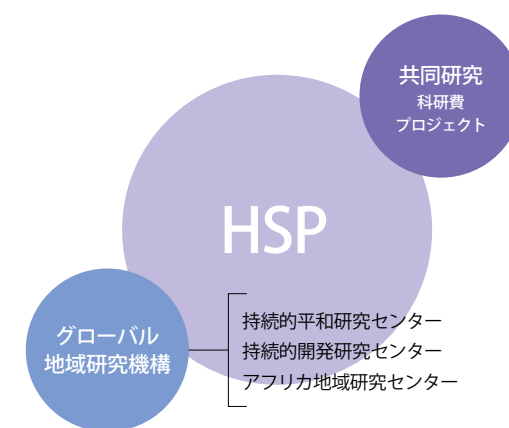
### HSPインテリジェント・ライブラリー

「人間の安全保障」プログラムは、2005年・2006年度に文部科学省研究拠点形成費等補助金「魅力ある大学院教育」イニシアティブに採択されました。この事業の一環として開設された研究図書室「HSPインテリジェント・ライブラリー」は年々拡充され、現在では「人間の安全保障」に関わる専門書を約7,200冊所蔵しています。また、本プログラムに提出された博士論文・修士論文も所蔵しており、ライブラリーにて閲覧することができます。今日、この蔵書は本プログラムの重要な研究・教育資源になっているだけでなく、学外の研究者の調査・研究にも活用されています。



### プログラムの研究基盤

「人間の安全保障」プログラムの教育活動は、東京大学総合文化研究科が持つ強力な研究基盤によって強固に支えられています。2010年4月には、研究科にグローバル地域研究機構が置かれ、その下で、「人間の安全保障」と密接に関連した持続的平和研究センター、持続的開発研究センター、アフリカ地域研究センターという三つの研究センターが発足しました。この三つのセンターは「人間の安全保障」に関わる様々なテーマで研究活動を行っており、プログラムとともに活発にシンポジウムやセミナーを開催しています。そのほか、プログラムでは、随時外部からの研究資金を導入しつつ、所属教員が中心となって、さまざまな研究プロジェクトを遂行しています。



## 社会連携

「人間の安全保障」プログラムは、国連大学や世界銀行をはじめ、外部の機関との連携を積極的に推進しています。また、シンポジウム・セミナーなどを頻繁に開催し、教育・研究活動の成果の発信と社会への還元にも努めています。プログラムの学生にも、こうした活動への積極的な参加が期待されています。

